

令和5年度 自己評価書

令和6年3月22日
真庭市立勝山こども園

1. 勝山こども園の教育保育目標

○教育・保育方針

子ども達を取り巻く環境や子ども達の家環境を支援し、子どもの状況や発達過程を踏まえ、子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う。

○保育・教育目標

適切な環境の中で養護と教育が一体となった保育を行い、心身ともにたくましく心豊かな幼児の育成を目指す。

○めざす子ども像

- ・明るく健康な子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・やりとげる子ども
- ・考える子ども
- ・のびのびと自分の思いを表現する子ども

2. 本年度の重点目標

- ・養護の行き届いた環境の中で子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持、情緒の安定を図る。
- ・身近な人々や自然、文化に触れる様々な体験を通して、感動する心や人と関わる力を育てる。
- ・家庭との連携を図りながら、生活に必要な習慣や態度を育成するとともに、道徳性の芽生えを培う。
- ・一人一人の発達過程や特性に応じた保育を行う中で、自ら人や環境と関わって遊び、豊かな心情や主体性を育てる。

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価
教育課程・指導計画	毎月保育の振り返りを行い、発達課題に合わせた保育計画を立案するよう努め、子どもが主体となる保育の実践できるようにした。	3
行事	コロナ禍があけて再度行事の内容や形式など園に応じた行事のあり方を検討して行うことができ子どもの成長を共有することができた。	4
組織・運営	職員の連携、情報共有など話し合いを大切に進めてきた。役割分担や時間の使い方などに課題もあり職員間で協力してよりよい運営に向け検討を進めていきたい。	3
学級経営	年齢や発達に応じた対応を行い安心して過ごすことができ、保護者との信頼関係も築けた。異年齢交流や遊びの環境の共有など話し合い繋がりのある園作りを継続していきたい。	3
特別支援教育	職員間で共通理解して保育を進めることができた。関係機関とも情報共有を行い保育に繋げることができた。	3
安全管理・保健指導	安全に関する知識や訓練を繰り返し行い、命の大切さについて理解できるようにした。年齢に応じた清潔の習慣も意識して取り組めた。	3
研修（資質向上）	多くの職員が研修に積極的に参加することができた。研修の内容を園内研修で共通理解して職員の保育資質の向上に努めることができた。	3
情報提供・保護者・地域との連携	保護者との会話を大切にしたり、日々の様子を掲示したりして情報発信をすることができた。今後は ICT を利用してタイムリーな情報発信にも取り組んでいきたい。	3
小学校との接続・連携	話し合いの中で園の希望も伝えることができ交流を通して期待へと繋げることができた。情報共有を大切にしながら連携の幅を広げていきたい。	3
子育て支援	送迎時の対話を大切に相談しやすい関係づくりができた。講演会なども利用して楽しく子育てができる取り組みもしていきたい。未就園児の広場も再開でき交流を持てよかった。	3
食育の推進（給食）	喜んで食べたり感謝の気持ちをもって食べたりできるようにした。リクエスト給食や栄養士の食育指導や巡回なども取り組めた。	3
食事の提供（調理）	除去食の対応は確認を何重にも行い、安全安心な給食提供を全員で心がけることができた。年齢に応じた調理工夫もできた。	3

4. その他必要な評価

評価指標	考 察	園総合評価
保育の質向上	研修の機会も多くなったので出来るだけ多くの職員が研修に参加できるようにし、内容について職員間での情報共有にも務めるようにして保育実践に生かせるようにした。	4

5. 本年度の重点目標及び総合的な評価結果の考察等

<p>○園の教育・保育目標の共通理解に努め、職員間で連携をとり一人一人の育ちに合わせた保育を行い子どもの心と体の成長へとつなげることができた。大きな園だが園児と保護者、職員がつながり合うことができた。</p> <p>○研修の機会も多くなり、積極的に参加することが出来た。研修等で学んだことを共有して保育資質向上につなげられるように話し合い、伝え合いを大切にしてきた。実践に向けてさらなる取り組みも行っていきたい。</p> <p>○保護者との関係づくりにおいて、懇談等を行うことで成長を喜び合えたり、課題を共有できたりして良好な関係づくりができた。</p> <p>○担当園児も多く業務内容も多い為、話し合いの時間の確保が難しかった。業務内容の見直しや有効な時間の使い方に課題が見られた。 今年度ICTの導入もあり、保護者の方の協力でスムーズに導入できたことはよかった。職員間でもタブレットを使っての確認が確実にできたと思う。 情報発信等で意欲的に取り組んでいきたい。</p>
--

6. 評価結果を受けての具体的改善方法等

<p>○子ども一人一人の発達課題や個性をしっかりと情報共有して保育にあたるように努めたが、より深い話し合いや手立ての工夫などまだまだ検討の余地があるので今後も取り組んでいきたい。</p> <p>○ICTの活用の仕方を検討して、情報発信や業務内容の改善などに積極的に取り組んでいくようにしたい。</p>
--

園評価基準

評 価	基 準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である